

EMIS(広域災害救急医療情報システム)

- ・ 厚生労働省が運用する情報システム
- ・ 医療機関の被害状況や受入患者数などの**災害医療に関わる情報を、行政機関・医療機関・医療支援チーム等の間で共有**することができる

EMISに登録する情報の例

- ・ 病院倒壊の恐れの有無
- ・ ライフラインの状況
- ・ 医薬品・医療ガスの状況
- ・ 多数患者の受診の有無
- ・ 病院職員の不足

など



- ◆ **入力訓練を年3回実施**、個人練習モードやe-ラーニング機能あり
- ◆ 平時からの、医療機関基本情報の入力(最新情報に更新)が重要

新EMIS(広域災害救急医療情報システム)について

◆令和7年度よりEMISがリニューアル(機能等は基本的に変更なし)

<変更点>

①ログイン方法

- ・「本番環境用」と「研修・訓練用」それぞれアカウントが付与され、ログインする場所がシステム内で異なる

②アカウントの付与対象

- ・旧EMISでは無床診療所も対象であったが、新EMISでは病院及び有床診療所に限定
※EMISのコンセプト＝急性期における医療救護活動のための情報システムであることから、病床のある医療機関に限定されたもの

◆令和7年度、全利用者研修を全4回実施(4/22, 5/1, 5/18, 5/29)

- ・新EMIS運用開始に際し、全利用者が新EMISに習熟できるようにするため。
- ・R6年4月の豊後水道地震時には、EMIS入力率の低さが課題として露呈したため、全利用者にEMISの重要性をあらためて理解していただく。

<受講状況>

第1回(4月22日開催)

受講者 計36名(医療機関:22名 市町村:10名 福祉保健所・県:4名)

第2回(5月1日開催)

受講者 計32名(医療機関:9名 市町村:11名 福祉保健所・県:12名)